

JTCでRedmine利用者2700人を 実現した手法



Silvers Rayleigh (レイリー)

2025/11/8

Redmine.Tokyo 第29回勉強会



自己紹介と今日のテーマ





Silvers Rayleigh
(発表者私物)

レイリーです！

海賊王と共に世界の海を渡り歩いた冥王。
今はシャボンディーでひっそりと隠居暮らし。
自分の時代が終わったのを知りながら、
若者が新世界に旅立つのを見守っています。

という気分で…



Silvers Rayleigh
(発表者自身)

レイリーです！

様々なシステムを担当した**システムエンジニア**。
今年の3月に**定年退職**。嘱託になりました。
今は**QA**として、~~裏社会~~裏方として活動し
若者が新世界に旅立つのを見守っています。

たまに、**霸王色の覇気**を使います！



JTCでRedmine利用者2700人を実現した手法

JTC = Japanese Traditional Company
日本の伝統的な会社

いろいろと大変、苦労もあります。

本日の発表はあくまでも 1 個人の意見とさせていただきます。

なぜ、今日、ここに来たか！



XP祭りのLTの最後、papandaさんからの啓示!!!

かつて2007年頃（18年前）
私はここでLTをしていた者だ
だからね、端的に言うとね、

監訳者迎撃LT

コンセプト

組織内での突破に、
コミュニティの力を得る


開催場所

TIS株式会社(田町)
アジャイル
プラクティス

(社内にも実践知が無くても、僕らには
コミュニティがあった)

参加者

30名



LTを しる



この**赤い色**、どこかで見たな。



私が初めて参加したRedmine.Japanの
基調講演、そういえば**市谷さん**でした！



感謝 工夫 楽しむこと



ここから本編です！

最初は500人の街の物語



始まりは小さな炎





2018年に横浜地区のあるプロジェクト。
メンバーが集まって相談していました。

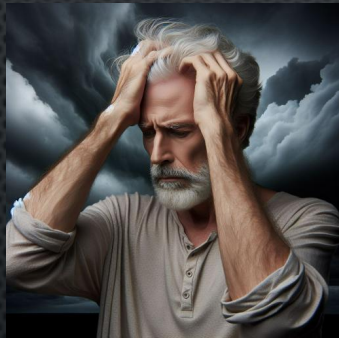




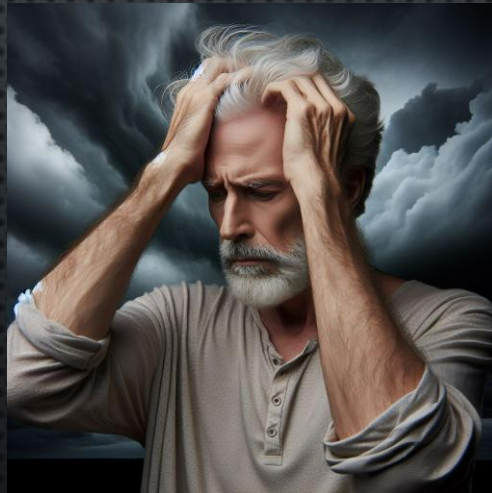
トラブル



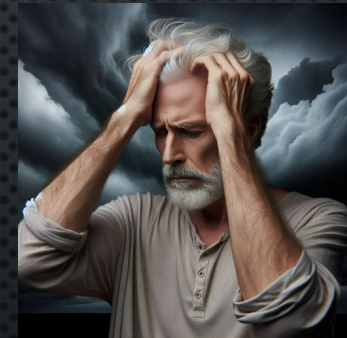
障害がなくなならない。ちゃんと管理できていない。
Redmineで管理している障害チケットを、
誰がもっていて、いつ終わるかわからない。



誰がもってるんだ？



いつ終わるんだ？



ほんとに終わるのか？

Redmineはチケットで情報を管理するツール。



現地の運用者

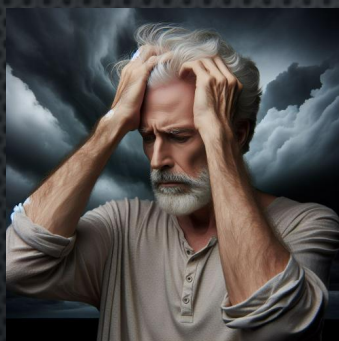
開発者



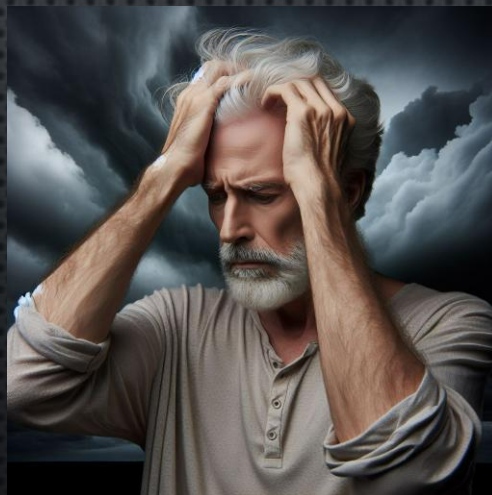
障害管理票

課題管理票

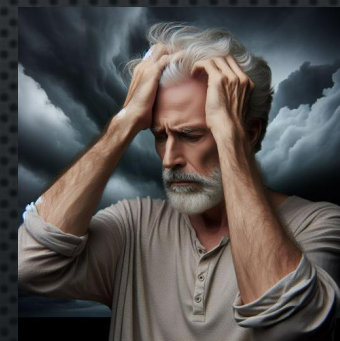
Redmineで管理されている障害情報の全体像を把握できないのが問題でした。



誰がもってるんだ？



いつ終わるんだ？



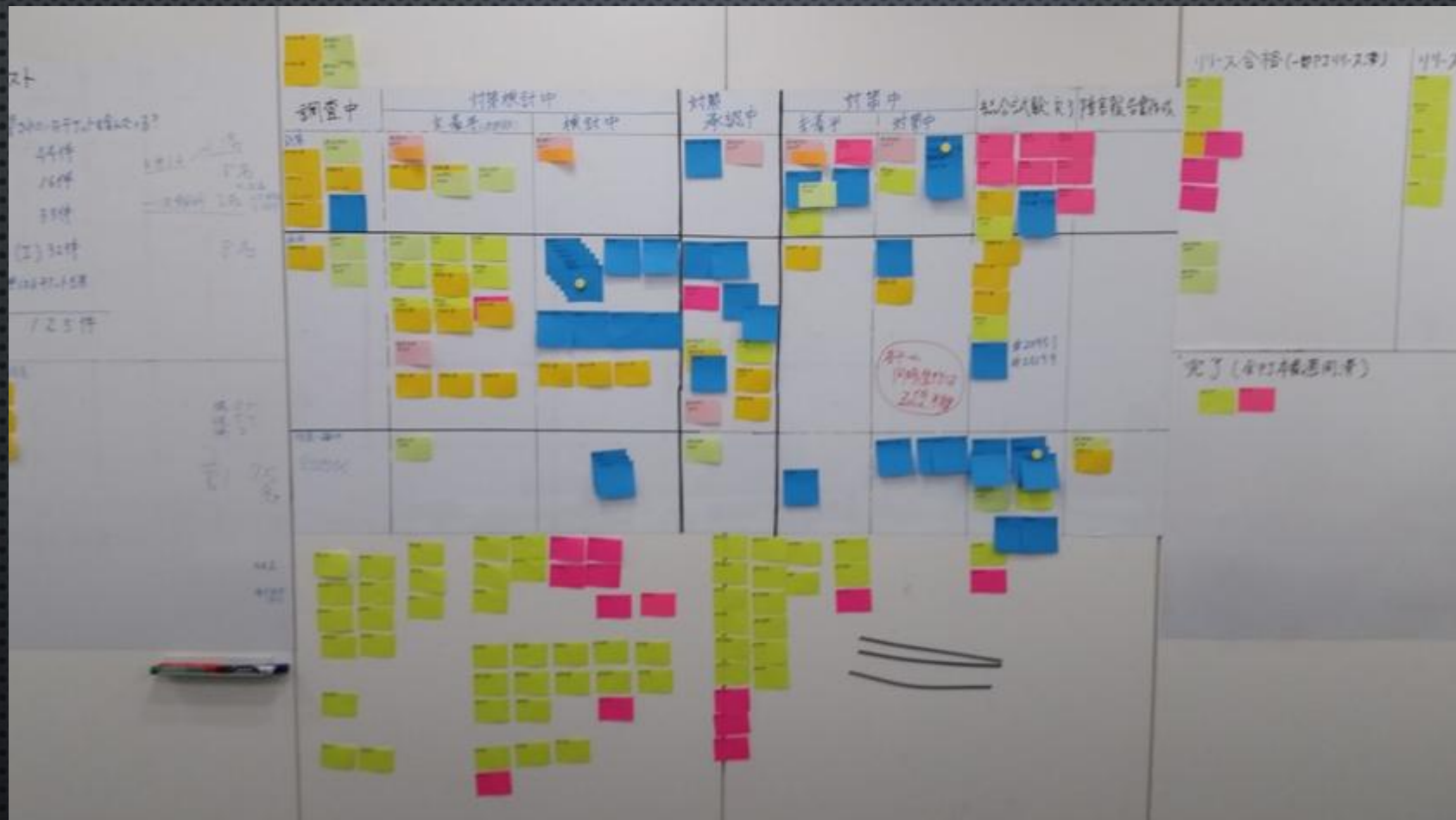
ほんとに終わるのか？



みんなで悩んだ結果、チケットを付箋紙に書いて、壁に貼り出し、朝会で状況を確認する運用にしました。

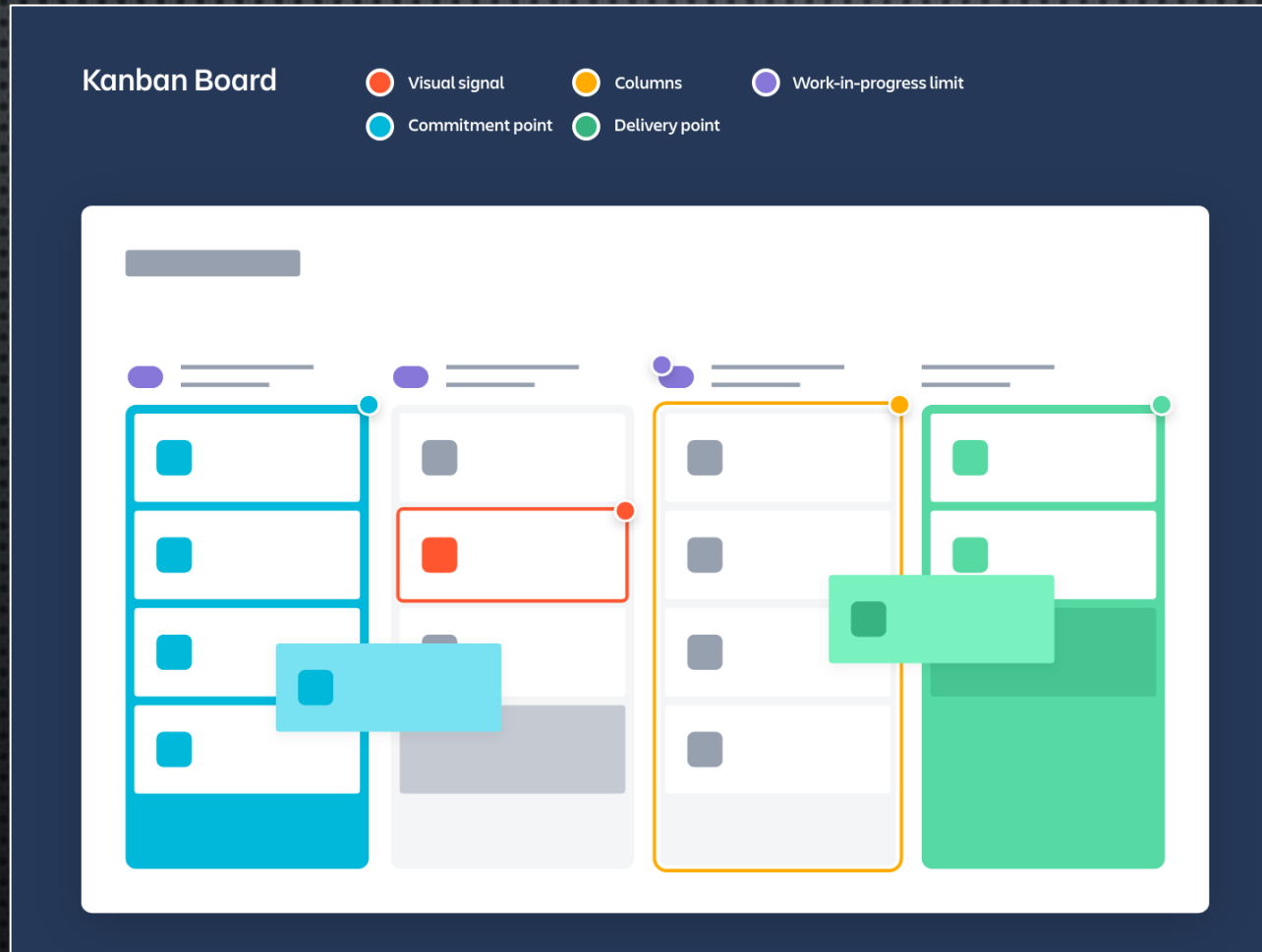


その時のプロジェクトの壁はこんな感じ。





でも、『かんばんボード』でチケット動かしたいんだよね。



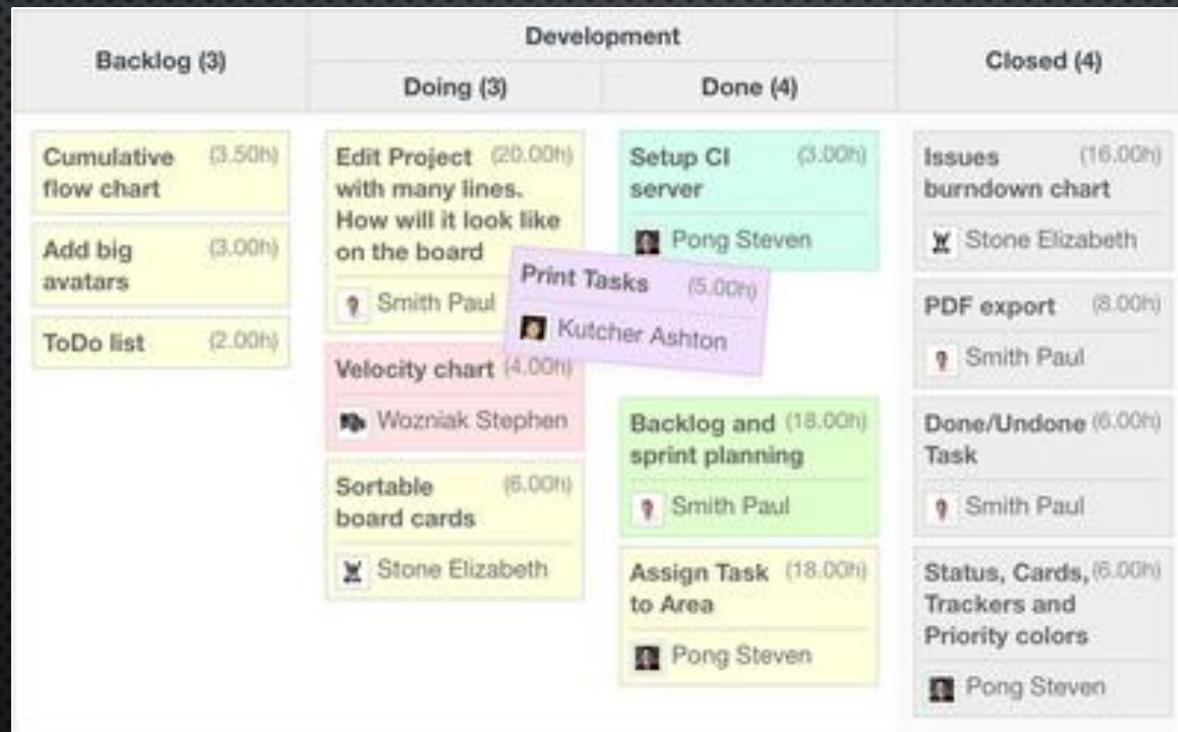
Atlassian JIRA



JTCでは、**年年初に計画した予算**で物事が動いていきます。途中で申請して通すのはけっこうめんどろ。

ましてや、**500名**のプロジェクト。今まで無料でやってきた障害管理でしたから。

そこで、今使っているRedmineを最新版にして、
かんばんボードの機能をもつ **Redmine Agile** という
プラグインの導入を計画しました。経費でいける範囲。



RedmineUP社
Redmine Agile



Agileってなんだ？ 知らねえ！

そのころ、『Agile』って言葉の意味がわからなくて、Redmineの『Agile』というメニューをView Customizeを使って『**かんばん**』にわざわざ書き換えて使っていました。

だって、欲しかったのは『**かんばん**』だったから。



そして、そのやりたい計画を実行するため

『Redmine環境向上化委員会』

2019年5月に旗揚げ。



この**ボランティアチーム**でやっていこう！
いろんなものに**チャレンジ**しよう！



『Redmine環境向上化委員会』の由来。

ポケモンの映画を息子と観に行った時に『ポケットモンスター製作委員会』のテロップをみて、「ワーキング」、「チーム」より「委員会」のほうが**遊んでる気分**だなと思って命名しました。



このシルエット、
もしやあの方では！

仲間を集めよう！ ルフィもそうしてた！





コンセプトは『Go-Style』

- 小さなバグは気にしない！ すぐ直せばいい。
- よいものはどんどんとりいれて形を変えていこう！
- スピード重視でがんがん行こう！



実はこれ、当時流行っていた「**Pokemon Go**」から得たアイデア。

こんなに不具合が多いのに、みんなが使ってる。よいものなら多少不具合があっても我慢して使ってくれる。それならガンガンだしてガンガン直しちゃおう。って考えました。



感謝！



感謝！



みんなで情報収集を開始すると、Redmine.JPというサイトに有用な情報が整理されていることがわかりました。もうそのころからお世話になっていたのです。ありがとうございました。

<https://redmine.jp/>

Redmine.JP Redmineとは ダウンロード インストール ドキュメント 用語解説 FAQ コミュニティ セミナー クラウド

プロジェクト管理ソフトウェア Redmine 日本語情報 (unofficial)

Redmineについて何かお困りですか？

キーワードを入力してください。例：はじめての使い方

Redmineは、オープンソースのプロジェクト管理ソフトウェアです。

- ✓ タスクも情報も一元管理
- ✓ チームにあわせた柔軟なカスタマイズ
- ✓ 自由に使えるオープンソースソフトウェア
- ✓ 多くの組織に選ばれてきた、長年の信頼のツール

感謝！



もう1つ、**Redmine.Tokyo**も参考にさせてもらって
いました。こちらも、ありがとうございました。

<https://redmine.tokyo/projects/shinared/news>



実はJTCで、一時期、このサイトにアクセスできなくなり、
困ったことがありました。ファイル共有サイトとして**禁書扱い**。
いろいろあります。

感謝！



(最近の感謝の話もここにいれさせていただきます。)
Redmine.Tokyoで**島津製作所の赤羽根さん**に
教えていただいた**FTS(Full Text Search)**、私たちの
Redmine環境に導入し、**検索が爆速、そして便利に**
なりました。こちらもありがとうございました！

The screenshot shows the Redmine interface with a search bar at the top containing the text '集計'. Below the search bar, there are tabs for 'すべて (9)', 'チケット (9)', 'ニュース (0)', 'Wikiページ (0)', and 'メッセージ (0)'. The main content area displays a list of search results, each with a task icon, ID, title, and dates. The results include:

- タスク #9194 (Done): 常備消防機関集計 (101)
2022/06/07 13:47 | 2021/05/01 00:00
- タスク #9193 (Done): 危険物施設集計 (101)
2022/06/02 14:11 | 2021/05/01 00:00
- タスク #9192 (Done): 救急病院集計 (101)
2022/06/02 14:10 | 2021/05/01 00:00
- タスク #9191 (Done): 建物構造集計 (101)
2022/06/02 14:09 | 2021/05/01 00:00
- タスク #9190 (Done): 防火対象物集計 (101)
2022/05/30 15:28 | 2021/05/01 00:00
- タスク #9173 (Done): 活動車両集計 (101)
2022/05/30 15:28 | 2021/05/01 00:00
- タスク #9172 (Done): 被害状況集計 (101)
2022/05/26 16:46 | 2021/05/01 00:00

Redmineを組織の中に広めていくためには、**3つの役割**が必要。この考え方はとても腹落ちして、当時、展開時のマネジメントレビューで使わせてもらいました。

活動家

警察

マイスター



※画像は生成AIで作成。

Redmineエバンジェリストが いるらしい！



※画像は生成AIで作成。

まさか、いきなりお会いできると思っていませんでした。



本題に戻ります。



委員会で最初にやったのはRedmine用サーバ確保。

レンタルサーバ設置場所を確認のためにサーバ室に
いったら、なんと未使用のサーバを3台発見。

管理できていない場所には宝の山が眠っている。新規
レンタルが不要になりました。



サーバ室で都市鉱山を掘り当てた！



反対に、ちゃんと管理しないとムダがいっぱい。
早速、再利用を調整。みんな整理しようね！



管理しろよ！



次に、Redmine Agileを手配。

調達部門に相談し、購入手続きを進めようとしたら、なんと期間限定の半額セール。

「\$899のところ今なら半額で\$449」超ラッキー！

通常の手続きでは間に合わないため、調達部門と経理部門と調整して個人立替（あまりやってはいけない）で精算することになりました。

しかし、いいことばかりじゃない。
ネットでカード決済すると**カードが止められる！**
そこそこの金額で振込先はオランダの会社。相手は
ロシア人のKirillさん。審査にひっかかったみたい。



RedmineUPで担当して
もらったブルガリア人の
Dimitarさん、いい人です。



その日はカード会社に電話して、解消。その後、
自宅に手紙が届き、

「ここに連絡しないと決済してあげないよ！」

あわてて電話しました。

次の年から、調達部門に海外パッケージを購入可能な国内エージェントをみつけてもらい手配。

今は管理部門から調達してもらおうようになりました。



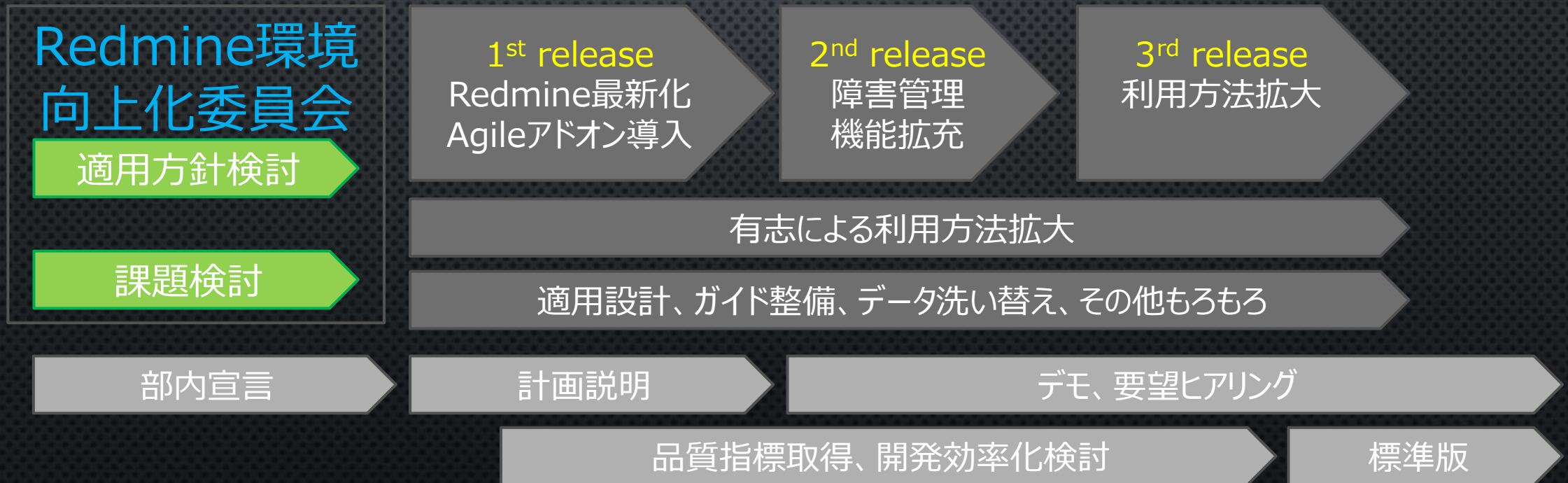
1つの会社でRedmine Agileのマルチサーバを購入すると、その会社内でコピーフリーになるってなんで早く言わなかったんですか！



工夫!



Redmine Agileを手に入れて、そこから毎月、
様々なプラグインを評価して、機能拡充して
いきました。





追加機能、ユースケース等の資料を作成し、説明会を開催。多くの方に参加いただきました。

障害管理ツールRedmine Agileプラグイン導入 1st Release

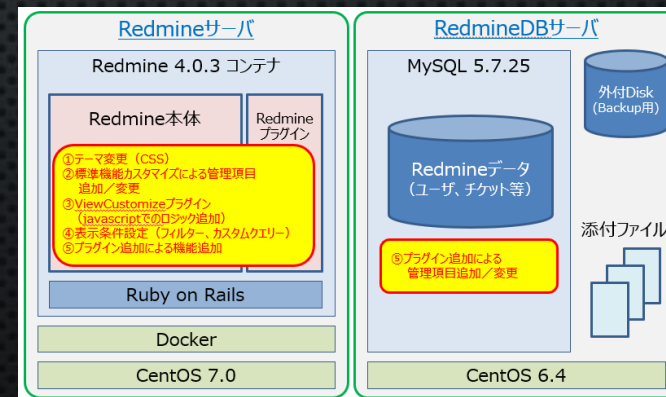
No.	拡張機能概要
1	お知らせ情報表示
2	トップバーに担当チケット数の表示と、ダイレクトアクセス
3	作成日・更新日を「○日前」ではなく日時で表示
4	右側サイドメニューの表示/非表示切替え
5	チケット一覧画面でチケットの親子関係をツリー状に表示
6	ユーザ選択にインクリメンタルサーチ機能追加
7	チケットにチェックリストを追加
8	書きかけのチケットの内容を自動で一定時間おきに保存
9	ウォッチャー登録、グループ・権限で対象ユーザを絞り込み
10	カレンダーに祝日表示
11	ユーザを軸にした工数管理（日毎入力、月間集計）
12	Windowsネットワーク情報の共有資源へのアクセス
13	知識・ノウハウの集積（蓄積・整理）と共有
14	ドラッグ・アンド・ドロップでガントチャートのプランニング

障害管理ツールRedmine Agileプラグイン導入 2nd Release

No.	拡張機能概要
A	各電力プロジェクトのユーザ棚卸し（6電力連絡会の回答結果の反映）
B	表示テーマ変更（default→farend_fancy）
C	プロジェクトの役割ごとにTOPメニューのヘッダー色変更
D	プロジェクト階層の見直し
E	調査結果記入欄の変更（以前と同様に広めに設定）
F	機種依存文字の潰れに対するフォントファミリー適用（「①②」などの文字潰れへの対応）
G	かんばんボード（Agileプラグイン）の効果的な利用方法
H	アレンジ機能（scheduling_pollプラグイン）の便利な利用方法
I	担当者入力時に関係者絞り込みを可能とするプラグイン（narrowdown）の導入
J	一定期間更新のないチケット情報をメール送信するプラグイン（redmine_issue_reminder）の導入
K	添付ファイルサイズ変更（5MB⇒30MB）
L	タイムアウト時間延長（60秒⇒300秒）

障害管理ツールRedmine Agileプラグイン導入 3rd Release

No.	拡張機能概要
A	ロール棚卸し
B	ホーム画面のデザイン変更
C	チケット担当者選択（インクリメンタルサーチ機能）の水平展開
D	かんばんボード応用（ステップ完了審査ワークフロー）





様々なプラグインをリリースすると**評判は上々！**

No.	プラグイン名	ver.	機能
1	Redmine Banner plugin	0.2.1	お知らせ情報表示
2	Redmine Issue Badge plugin	0.0.7-dev	トップバーに担当チケット数の表示と、ダイレクトアクセス
3	Redmine Absolute Dates plugin	0.0.4	作成日・更新日を「○日前」ではなく日時で表示
4	Redmine Sidebar Hide plugin	0.0.8	右側サイドメニューの表示／非表示切替え
5	Redmine Issues Tree plugin	0.0.13	チケット一覧画面でチケットの親子関係をツリー状に表示
6	redmine View Customize	2.4.0	ユーザ選択にインクリメンタルサーチ機能追加、かんばん表示変更 他
7	redmine_checklists	3.1.16	チケットにチェックリストを追加
8	Redmine Drafts plugin	4.0.0	書きかけのチケットの内容を自動で一定時間おきに保存
9	Redmine Watcher Filter plugin	4.0.0-alpha	ウォッチャー登録画面にて複数人を追加する際、グループで絞り込み・追加
10	Redmine Holidays plugin	0.0.1	カレンダーに祝日表示
11	Redmine Work Time plugin	0.4.0	ユーザを軸にした工数管理（日毎入力、月間集計）
12	Redmine Wiki UNC Link plugin	0.0.4	Windowsネットワーク情報の共有資源へのアクセス
13	Redmine Knowledgebase plugin	4.0.0	知識・ノウハウの集積（蓄積・整理）と共有
14	Redmine Easy Gantt Pro plugin	1.12	ドラッグ・アンド・ドロップでガントチャートのプランニング
15	redmine_issue_templates	0.3.5	チケットテンプレートの設定を可能にする
16	redmine_plugin_views_revisions	0.0.1	Redmineのデータ管理方法を改善する
17	redmine_xls_export	0.2.1.t11	EXCEL出力を可能とする。
18	redmine_log	0.1.1	管理者画面からログ確認を可能とする
19	clipboard_image_paste	1.13	クリップボードをそのまま添付することが可能
20	redmine_agile	1.4.12	かんばんボード
21	redmine_spent_time	4.0.0	チケット対応に要した時間を記録することが可能
22	narrowdown	0.0.1	チケット担当者の設定時に関係者で絞り込みが可能
23	redmine_reminder_task	0.0.1	画面からリマインド設定が行える。
24	redmine_scheduling_poll	4.0.2	スケジュール調整を可能とする。
25	redmine_wiki_extensions	0.9.0	Redmineのwikiを拡張する。



チケット管理だけじゃなくて、開発ポータルやWFができました。

活用レベル	初期導入	課題管理／障害管理	開発ポータル	開発	業務効率化
機能	Redmine+Add-on	<ul style="list-style-type: none"> ・チケットによる課題管理 ・チケットによる障害管理 ・かんばんボード 	<ul style="list-style-type: none"> ・バナー、ニュース ・Wiki 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードマップ（マイルストーン） ・タスク ・Gantt Chart ・EVM ・工数管理 ・品質指標取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークフロー ・品質審査 ・ユーザ管理 ・結合試験管理 ・ビューチェックシート運用
説明	Redmineが利用できる環境を構築する。	Redmineチケットを利用して課題管理／障害管理を行う。Web上で一元管理でき、かんばんボードで見える化実現。	開発に必要な情報をポータルに掲示し、開発メンバーが参照する。	開発タスクをチケット化し、チケット駆動型で作業項目、進捗、工数を管理する。	メール、Excelで管理していたチーム間を跨る受付業務、WF等をチケット型にし、業務の見える化を図る。
運営者	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバ構築 ・Redmine+Add-on導入 ・ユーザ登録、権限設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理項目設計/設定 ・ワークフロー定義 ・利用方法教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・初期導入時に環境構築済 ・ポータルサイト運用 ・定期的な情報掲示 ・開発標準の整備 ・標準フォーマット、チェックリスト ・マニュアル類 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理項目設計/設定 ・品質指標取得の仕組実装 ・マニュアル作成 ・利用者教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務企画支援（Redmine適用設計） ・環境構築 ・バッチ更新運用
管理者	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・チケット滞留フォロー ・業務監視 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・開発タスク チケット化 ・業務監視 ・進捗資料作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務企画／設計 ・業務監視 ・タスク チケット化 ・WF利用
利用者	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・利用方法の理解 ・チケット登録／処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報参照 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用方法の理解 ・進捗入力 	<ul style="list-style-type: none"> ・WF利用



もっと広い街に届けよう！



今回の『Go-Style』のやり方って実はRedmine
以外にもいけるんじゃない。それならプロジェクトの
課題をみんなやっつけちゃう方向に
いってみよう。



生成AIに書いてもらった大風呂敷

そして、2019年9月

『プロジェクト運営改善委員会』

を旗揚げ。



ボランティアチーム継続！

英語名、略称も決めちゃえ！

英語名

『Project Management Office Neo』

略称

『PMON (ぴーもん) 』



プロジェクトを支援する**PMO**はよく設置する。
その新しい形を意味する『Neo』を加えて、**PMON**
というのは建前で
私達の**Go-Style**、元々は、**POKEMON Go**発祥。
だからそれに関係した名前に！
遊び心は大切。『PMOとN』です





新しい形、『PMO **Neo**』。それも表向きの話。

映画『Matrix』で主人公キアヌ・リーブスが
演じる天才ハッカー『Neo』。

**技術力で解決する私達に通じる。
そして最後に救世主になる！**

やっぱ、遊び心は大切。

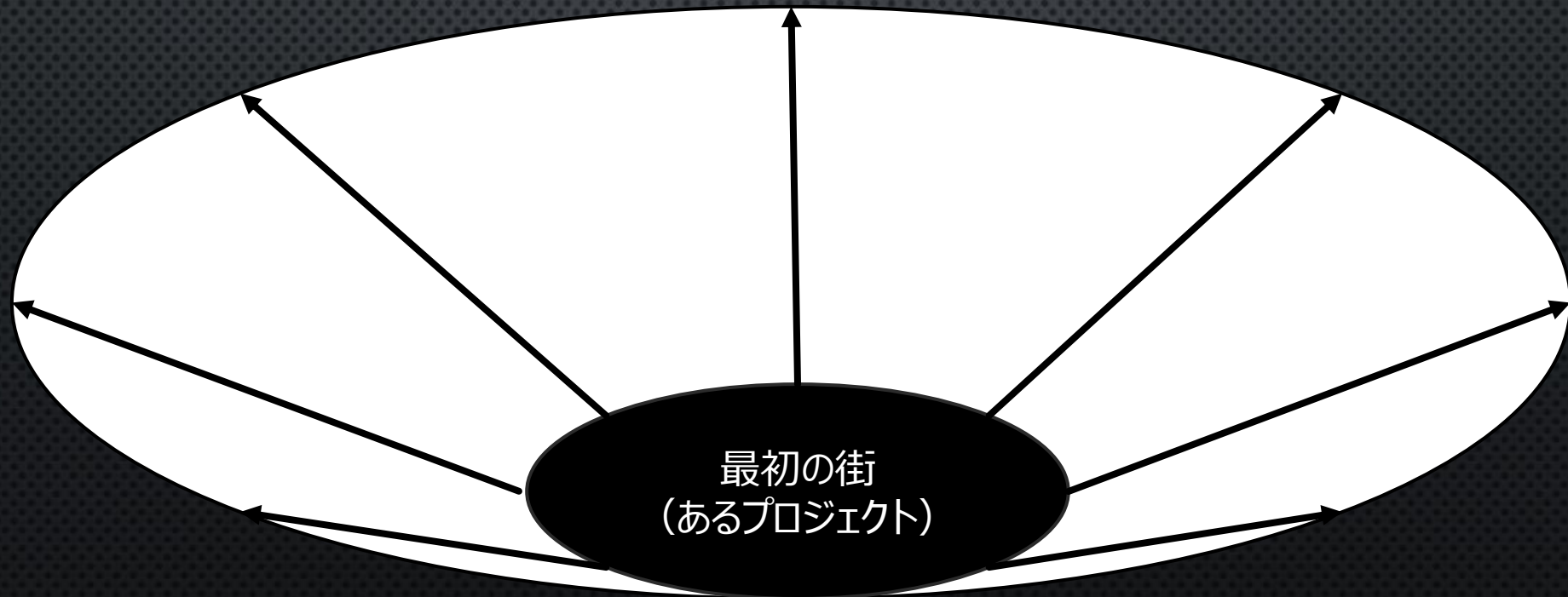


プロジェクトの中でPMONの活動を進めていく中で、
せつかくよいものができたので、**500人の街だけではなく周りの街でも共有したい**気になってきました。



プロジェクト運営改善委員会『PMON』として
Redmineを周りの街へ展開開始。

周りの街への展開





JTCでは組織の名称変更、再編がよくあります。
それに影響しない名称を付けたいな。事務所から
見える3つの景観をサーバに命名。

RedmineSky



RedmineBay



RedmineFuji





今日のテーマ…変更！

JTCでRedmine利用者2700人を 実現した手法



Silvers Rayleigh (レイリー)

2025/11/8

Redmine.Tokyo 第29回勉強会

JTCでRedmine利用者2700人を

実現した手法 第一部



Silvers Rayleigh (レイリー)

2025/11/8

Redmine.Tokyo 第29回勉強会



次回、またLTに参加させてもらうことができれば

- ①Redmineを2700人を実現したこの後の道のり
- ②RedmineデータをPowerBIに取り込み品質見える化
- ③Redmineデータの生成AI活用

あたりを紹介できればと考えています。

Be (Silvers) Rayleigh!



レイリーは海賊王ロジャーとともに世界を回ったDark king。彼は新しい世代が新世界に旅立っていくのを見守っています。自分の時代が終わったことを知りながら、ルフィーが海賊王になるのを楽しみにしてる感じ。

- ・キングダムなら麿公(ひょうこう)将軍
 - ・ハイキューなら北伸介
 - ・アオアシなら司馬明孝
- その辺です。わかる人にはわかる。☺

Silvers Rayleigh
(発表者私物)



Our Voyage Continues.